

平成22年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

小学校5学年 P調査問題
(問題, 正答)

国語, 算数

長野県教育委員会

平成二十二年 度 P 調査問題 小学校五年国語(一)

五年) (組) (番 氏名)

)

問 / 5 問

(答えは、すべて解答らん^{かいとう}に書きなさい。)

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【一】 次の 線のついた漢字のよみがなを の中にひらがなで書きなさい。

体を反らす。

【二】 次の 線のついたひらがなを の中に漢字と送りがなに直して書きなさい。

約束をかならず守る。

【三】 (a)(b)に入る語の組み合わせとしてふさわしいものを、ア～ウから一つ選んでその記号を書きなさい。

ぼくは去年の運動会前に一人で走る練習をした。(a) 六位で残念だった。
(b) 今年、友だちと競い合^{きこ}って練習することにした。

ア a それどころか・b ついに イ a しかし・b そこで ウ a けれども・b または

問二 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

【四】 線部「人間は動物のなかまでも、とりわけかわり者なのです。」について、筆者がこのように述べた理由を次のようにまとめました。ふさわしい言葉を本文中から抜き出して に書き入れなさい。

二本足で歩くようになった人間は、前へ進むところは他の動物と同じです。


その点は同じでも、


ところが他の動物と

ちがいます。だから、人間は「かわり者」なのです。

【五】来週、五年生は遠足に行きます。保健係の真知子さんは、学級の仲間のスズメバチに注意するよう、次の図鑑を利用して呼びかけることにしました。あとの条件に従って、六〇字以上、七〇字以内で、「」、「」、も字数に入れる)呼びかけの原稿を書きなさい。

スズメバチ





どんな体の特徴があるの？
 体長4センチほど。大きな黄色い頭と黒と黄色のしまもようふくぶの腹部をもつ。腹部の先には毒どくのあるはりをもつ。

どんな習性しゅつせいをもっているの？
 自分の家族を守るため、敵てきに対しては、はげしくおそいかかる。巣すの近くで大きな音を立てたり、動き回ったりするものを敵てきだと判断はんだんする。

出会ったらどうするの？
 スズメバチの巣すを見つけたら、静かに離はなれる。

△条件▽

資料の言葉を使って書きなさい。ただし、資料のすべての内容ゆほうにふれるようにすること。

二文にして、一文目は「スズメバチは」の言葉で始め、二文目は「だから」の言葉で始めること。

スズメバチは				
60	40	20		

平成 22 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 (1)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()
 (答えはすべて解答らんには書きなさい。)

正答数
問 / 5 問

【 1 】 $1.4 + 3$ を計算しなさい。

【 2 】 下の整数と分数を，小さい順に左からならべなさい。

$$\left[1\frac{3}{4}, \frac{9}{4}, 2 \right]$$

【 1 】	
【 2 】	小さい順に , ,
【 3 】	
【 4 】	人

【 3 】 9 1 2 まいの色紙を 4 人に同じ数ずつ配るときの
 1 人分のまい数は，右のように筆算でもとめられます。

今，9 1 2 まいの色紙の中から，1 人に 2 0 0 まい
 ずつ配りました。4 人に配った色紙のまい数を表して
 いるのは，右の筆算のどこですか。

ア～クの中から 1 つえらんで，その記号を書きなさい。

2 2 8	ア
4) 9 1 2	イ
8	ウ
1 1	エ
8	オ
3 2	カ
3 2	キ
0	ク

【 4 】 右の表は，大人と子どもで，野球とサッカーのど
 ちらが好きかを調べた表の一部です。
 サッカーが好きな子どもは何人ですか。

	野球	サッカー	合 計
おとな	5		7
子ども			
合 計	8		15

平成 22 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 (2)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()

【 5 】 下の図のように、はこにクッキーがならんでいます。たかしさんは、

$$5 \times 5 - 2 \times 4$$

という式をつくって、クッキーのこ数をもとめました。

図を使って、たかしさんのもとめ方をせつめいしなさい。

【 5 】	<p>〔せつめい〕</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 20px auto;"></div>
-------	--

学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に をしましょう。(算数だけでなく、全部の教科の勉強時間です。また、学習じゅくで勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。)

- 1 3 時間以上
- 2 2 時間以上, 3 時間より少ない
- 3 1 時間以上, 2 時間より少ない
- 4 30 分以上, 1 時間より少ない
- 5 30 分より少ない
- 6 まったくしない

正答

(答えは、すべて解答らん^{かいとう}に書きなさい。)

(

正答数

問 / 5 問

問一 それぞれの問題に答えなさい。

【一】 次の 線のついた漢字のよみがなを の中にひらがなで書きなさい。
体を反らす。

そ

【二】 次の 線のついたひらがなを の中に漢字と送りがなに直して書きなさい。
約束をかならず守る。

必ず

【三】 (a)(b)に入る語の組み合わせとしてふさわしいものを、ア～ウから一つ選んでその記号を書きなさい。

ぼくは去年の運動会前に一人で走る練習をした。(a) 六位で残念だった。
(b) 今年、友だちと競い合^{きこ}って練習することにした。

ア a それどころか・b ついに イ a しかし・b そこで ウ a けれども・b または

イ

問二 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

【四】 線部「人間は動物のなかまでも、とりわけかわり者なのです。」について、筆者がこのように述べた理由を次のようにまとめました。ふさわしい言葉を本文中から抜き出して に書き入れなさい。

二本足で歩くようになった人間は、前へ進むところは他の動物と同じです。

その点は同じでも、

胴体をタテにして前進する

ところが他の動物と

ちがいます。だから、人間は「かわり者」なのです。

正答

【五】来週、五年生は遠足に行きます。保健係の真知子さんは、学級の仲間にスズメバチに注意するよう、次の図鑑を利用して呼びかけることにしました。あとの条件に従って、六〇字以上、七〇字以内で、「、」「。」「」も字数に入れる) 呼びかけの原稿を書きなさい。

図鑑

スズメバチ



どんな体の特徴があるの？

体長4センチほど。大きな黄色い頭と黒と黄色のしまもようの腹部をもつ。腹部の先には毒のあるはりをもつ。

どんな習性をもっているの？

自分の家族を守るため、敵に対しては、はげしくおそいかかる。巣の近くで大きな音を立てたり、動き回ったりするものを敵だと思判断する。

出会ったらどうするの？

スズメバチの巣を見つけたら、静かに離れる。

△条件▽

資料 の言葉を使って書きなさい。ただし、資料 のすべての内容にふれるようにすること。

二文にして、一文目は「スズメバチは」の言葉で始め、二文目は「だから」の言葉で始めること。

スズメバチは毒のある針をもっていて、巣の近くでさわいでいると、敵だと思っておそつてきます。だから、巣を見つけたら静かに離れましょう。

正答

平成 22 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 (1)

5 年 () 組 () 番 氏名 ()
 (答えはすべて解答らんに書きなさい。)

正答数

問 / 5 問

【 1 】 $1.4 + 3$ を計算しなさい。

【 1 】	4 . 4
【 2 】	小さい順に $1\frac{3}{4}$, 2 , $\frac{9}{4}$
【 3 】	ウ
【 4 】	5 人

【 2 】 下の整数と分数を , 小さい順に左からならべなさい。

$$\left[1\frac{3}{4} , \frac{9}{4} , 2 \right]$$

【 3 】 9 1 2 まいの色紙を 4 人に同じ数ずつ配るときの
 1 人分のまい数は , 右のように筆算でもとめられます。

2 2 8	ア
4) 9 1 2	イ
8	ウ
1 1	エ
8	オ
3 2	カ
3 2	キ
0	ク

今 , 9 1 2 まいの色紙の中から , 1 人に 2 0 0 まい
 ずつ配りました。 4 人に配った色紙のまい数を表して
 いるのは , 右の筆算のどこですか。

ア ~ クの中から 1 つえらんで , その記号を書きなさい。

【 4 】 右の表は , 大人と子どもで , 野球とサッカーのど
 ちらが好きかを調べた表の一部です。

サッカーが好きな子どもは何人ですか。

	野球	サッカー	合 計
おとな	5		7
子ども			
合 計	8		1 5

正答

平成 22 年度 P 調査問題 小学校 5 年算数 (2)

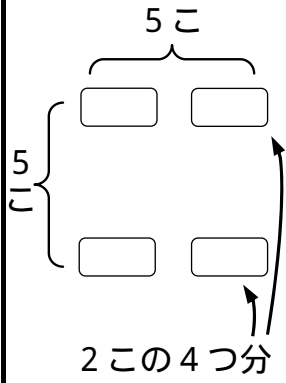
5 年 () 組 () 番 氏名 ()

【 5 】 下の図のように、はこにクッキーがならんでいます。たかしさんは、

$$5 \times 5 - 2 \times 4$$

という式をつくって、クッキーのこ数をもとめました。

図を使って、たかしさんのもとめ方をせつめいしなさい。

【 5 】	〔せつめい〕	(正答例)
		<p>「$5 \times 5 - 2 \times 4$」の「5×5」は、図のようにクッキーを加えたときの、全体のご数を表している。</p> <p>「2×4」は、加えたクッキーのご数を表している。</p> <p>たかしさんは、まず、4すみにクッキーを加えた全体のご数をもとめ、そこから加えた分をひいて、クッキーのご数をもとめた。</p>

学校の授業時間以外に、ふだん(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。当てはまる番号に をしましょう。(算数だけでなく、全部の教科の勉強時間です。また、学習じゅくで勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。)

- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 まったくしない

平成22年度 学力向上のためのPDCAサイクルづくり支援事業

小学校5学年 P調査問題指導資料

(解説シート, 指導シート)

国語, 算数

長野県教育委員会

小学校5年国語【一】【二】解説シート

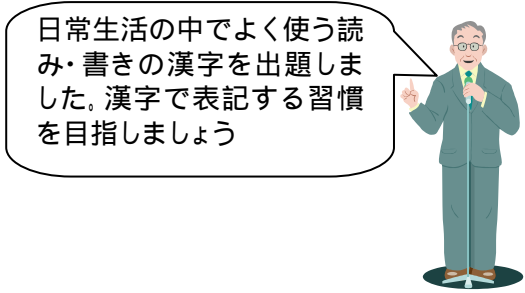
問題

【一】 次の線のついた漢字のよみがなを□の中にひらがなで書きなさい。

体を反らす。

【二】 次の線のついたひらがなを□の中に漢字と送りがない直して書きなさい。

約束をかならず守る。



正答 【一】 そ
 【二】 必ず

出題の趣旨

【一】【二】 学年別漢字配当表の3学年までに配当されている漢字を正しく書いたり，4学年までに配当されている漢字を正しく読んだりすることができるかどうかをみる。

学習指導要領との関連

【一】【二】 第3学年及び第4学年〔言語事項〕(1)イ
 (ア) 第3学年及び第4学年の各学年においては，学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また，当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うとともに，当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。

解答類型及び過去の調査における正答率

<【一】 解答類型>

1	「そ」と解答しているもの	人	%
2	「は」「く」などと解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

解答として求める条件をすべて満たしている正答

<【二】 解答類型>

1	「必ず」と解答しているもの	人	%
2	「必ず」と解答しているもの		
3	はねがないもの		
4	漢字を誤っているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

解答として求める条件をすべて満たしている正答

<昨年度の調査における正答率>

	正答率	問 題
平成 21 年度 P 問題	38.9%	【一】 漢字を <u>用</u> いて作文を書く。
平成 21 年度 C 問題	95.2%	【一】 入学を <u>祝</u> う。
平成 21 年度 P 問題	67.3%	【二】 <u>みじかいえんぴつ</u> を大事に使う。
平成 21 年度 C 問題	80.2%	【二】 校庭の石を <u>ひ</u> ろう。

小学校5年国語【一】【二】指導シート

補充・補完指導

分析 「は」などと書き間違えている児童は何人いましたか。

これは、送り仮名から判断をして言葉を考えて読んでいるのではないのでしょうか。

漢字はあっているが、送り仮名が間違っている児童は何人いましたか。

学習した漢字を日常生活の中で使っていない傾向はないのでしょうか。

確認 普段の授業の中で、類義の言葉、語感の違いなどに目を向ける学習をしているのでしょうか。

学習した漢字を日常生活の中で意識して使っていますか。日記や作文などから児童の傾向をとらえ直しましょう。

ここがポイント



漢字学習

漢字に興味をもたせ、学習した漢字を日常生活の中で意識して使うように指導しましょう。

【誤答の分析から取組への見通し】

文章表記や学習用語としては使うことがあるが、日常生活の中で使用頻度の低い漢字は、教師の側が意識して使う場面を仕組んだり、類義のよく使う言葉と関連させて学習したりする工夫をしましょう。

児童は漢字に限らず、新しく覚えたものを使ってみたいという意識があります。「字を覚える楽しさ」を感じた機会を逃さず、認める教師のとらえが「日常生活で漢字を使おうとする」意識につながります。低学年の指導が重要です。また、学年が上がるにつれ、「漢字は覚えるもの」という意識になってきます。漢字の組み立てや成立など知的な好奇心を満たす授業の工夫と共に、日記やノート、作文など児童の生活全般から意識化させる工夫をしましょう。

ここがポイント



漢字指導は次のような点に留意しましょう。

文脈の中で意味を理解しながら読むことができるように指導しましょう。

部首に着目したり同じ漢字を用いた他の語句と関連させたりしながら漢字についての理解を深めていく指導を工夫しましょう。

偏の違う字や形の似ている字と関連・比較させながら指導しましょう。初めて出会う場面では漢字の成り立ちや意味などを丁寧に扱きましょう。

【小5の例】 つくりが同じ漢字 「複」・「復」、 「職」・「織」・「識」など
部分が似ていて誤りやすい漢字 「預」・「務」など

練習の仕方を具体的に指導したり、漢字テストのやり方を工夫したりしましょう。宿題と授業での漢字テストを関連付けるなど、目的をもって漢字練習ができるような工夫もしていきましょう。

短文作りなどを通して、熟語として、実際に文の中で使って練習したり使い慣れたりできるように指導しましょう。

動詞の送り仮名は活用語尾を送る場合が多いこと、副詞の送り仮名は最後の一字を送ることが多いことなど、経験として感じられるようにしましょう。さらに、日常生活の中で使う場面をとらえて意識付けをしましょう。

小学校5年国語【三】解説シート

問題

【三】(a)(b)に入る語の組み合わせとしてふさわしいものをア・ウから一つ選んでその記号を書きなさい。

ぼくは去年の運動会前に一人で走る練習をした。(a)六位で残念だった。(b)今年、友だちと競い合って練習することにした。

ア a それどころか・b ついに
 イ a しかし・b そこで
 ウ a けれども・b または

正答 【三】 イ

出題の趣旨

【三】 文脈に沿って接続語を適切に使えるかどうかをみる。

学習指導要領との関連

【三】 第3学年及び第4学年〔言語事項〕(1)オ
 (ウ) 文と文とのつながりを考えながら、指示語や接続語を使うこと。

解答類型及び過去の調査における正答率

< 【三】 解答類型 >

1	イと解答しているもの	人	%
2	アと解答しているもの		
3	ウと解答しているもの		
0	無解答		

解答として求める条件をすべて満たしている正答

< 昨年度の調査における正答率 >

	正答率	問 題
平成21年度P問題	75.9%	【四】次に・ところが/ところが・すると/まず・次に
平成21年度C問題	73.7%	【五】そして・したがって/ですから・しかし/しかし・ところが

小学校5年国語【三】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



誤答の傾向の分析から、文相互の関係をつかむ力を把握しましょう

分析 ・「ア」を選んだ児童は何人いましたか。

aが逆接で、bが順接の接続語です。接続語の働きをとらえていると言えます。しかし、ここで示された文意に合った、よりふさわしい言葉を選ぶ感覚につまずきがあります。

・「ウ」を選んだ児童は何人いましたか。

aが逆接で、bが累加の接続語です。接続語の働きをきちんと理解していない傾向があります。

確認 段落相互の関係を段落冒頭の接続語の働きに着目してとらえる学習をしていますか。

ここがポイント



語彙の学習 接続語のはたらきや語感の違いに着目する学習を

【誤答の分析から取組への見通し】

似た言葉を比べて文意の違いを考えるなど、語感を豊かにする学習をしましょう。

接続語の種類（順接・逆接・説明・選択・累加・転換）と働きを確認し、文と文がどのような関係になっているかを丁寧に学習する機会を取りましょう。

文と文の間にある接続語や段落の始めにある接続語に着目して、文相互の関係や段落相互の関係をとらえよう。

接続語に着目すると、文や段落の意味が分かりやすいなあ。自分の考えも伝えやすいし、相手の考えも分かりやすい。

ここがポイント



書くことの学習で 接続語のはたらきに着目する学習を

4年「書くこと」の指導

文相互、段落相互の関係に注意して書く学習を

自分の考えが明確になるよう文章の構成を考える学習を位置付けましょう。

累加、並列といった段落と段落の相互の関係や事実と意見、結論とその理由や根拠などの段落の役割に着目して、文章の分かりやすさを考える学習場面を工夫しましょう。

5年「書くこと」の指導

文章の構成を考えて自分の考えを明確に書く学習を

目的や意図に応じて分かりやすさを比べ、構成の工夫を考える学習を取り入れてみましょう。

頭括型の組立が多い新聞、尾括型の組立が多い説明する文章など、目的や意図に応じて、主張をどこに位置付けたら分かりやすくなるかなど、構成を考える学習展開を工夫しましょう。

ここがポイント



文学的文章を読む学習で 語感の違いに着目する学習を

4年「読むこと」の指導

文学的文章でも語感を豊かにする学習を工夫しましょう。

副詞の有無による文意の違いに着目して登場人物の心情を考え合うなど、言葉の感覚を高める学習を積み重ねましょう。

小学校5年国語【四】解説シート

問題

問二次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

【四】 線部「
 筆者がこのように述べた理由を次のようにまとめました。適切な言葉を本文中から抜き出して、
 書き入れなさい。」

著作権の関係上、掲載できません。

正答例

著作権の関係上、掲載できません。

出題の趣旨

目的に応じて中心となる語をとらえ、文章を正しく読めるかどうかをみる。

学習指導要領との関連

【四】 第3学年及び第4学年 C 読むこと

(1) 読むことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。

解答類型及び過去の調査における正答率

< 【四】 解答類型 >

1	「 」	人	%
2	「 」		
3	「 」「 」		
4	「 」		
5	「手を使う」「考える」など人間の他の動物との違いを書いている		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

解答として求める条件をすべて満たしている正答


< 昨年度の調査における正答率 >

平成21年度P調査 【三】 66.7%

平成21年度C調査 【四】 78.8%

小学校5年国語【四】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント  誤答の傾向の分析から、どの言葉に着目して読み取っているかを分析しましょう。

分析 解答類型の誤答については、つぎのようなことが考えられます。

- ・類型2 問題文の意味，解答文の意味もとらえています。文章を構成する力もあります。「
」との対応に気付いていないようです。
- ・類型3 文章の内容は読み取れています。問題文の意味の読み取りがきちんとできていないようです。
- ・類型4 問題文の意味，解答文の意味もとらえています。答えの文に即して文章を書く意識が弱いようです。
- ・類型5 筆者の主張に即して文章を読んでおらず，自分の感覚で読んでいることが考えられます。
- ・類型9，0 文章の中で何を比較しているかを読み取れていないことが考えられます。

確認 筆者の主張を読み取るためにどの言葉に着目すればよいか理解していますか。

ここがポイント



「読むこと」の学習

言葉に着目して筆者の主張を読み取る学習を

【誤答の分析から取組への見通し】

筆者の主張を読み取るために，文末表現や繰り返し出てくる言葉，キーワードなどの言葉に着目して中心になる部分がどこにあるのか読み取る学習をしましょう。

文末表現を比較して，筆者が何を強調しているのか考えよう。

「ます」と「なのです」を比べると，「なのです」には筆者の強い思いが感じられる。この部分は文章の中心になるのかもしれない。

文章に繰り返し出てくる言葉を探してみよう。

「進みます」「進む」「進み方」「進みます」「前進」と同じような言葉が繰り返されている。この言葉は筆者が大事にしている言葉のようだな。

ここがポイント



「説明的な文章」を読む学習で

着目する言葉を決めて主張を読む学習を

4年「読むこと」の指導

どの言葉に着目すると筆者の主張が読み取れるかを考える学習を工夫しましょう。

筆者が，どのような事実を挙げ，その事実に対してどのような意見をもっているか（断定的な意見や推論による不確かな意見なのか，助言なのか，提案なのか）などを文末表現に着目して読む学習を工夫しましょう。

5年「読むこと」の指導

繰り返される言葉やキーワードから，主張の軽重や表現の仕方を考える学習を工夫しましょう。

筆者が事実に対してどう考えたり思ったりしているかを，繰り返される言葉やキーワードに着目して読む学習を工夫しましょう。

小学校5年国語【五】解説シート

問題

解答欄	<p style="text-align: center;">△条件▽</p> <p>資料の言葉を使って書きなさい。ただし、資料のすべての内容にふれるようにすること。</p> <p>二文にして、一文目は「スズメバチは」の言葉で始め、二文目は「だから」の言葉で始めること。</p>	△資料▽	<p>【五】来週、五年生は遠足に行きます。保健係の真知子さんは、学級の仲間にもスズメバチに注意するように、次の資料を使って呼びかけのことにしました。あとの条件に従って、六〇字以上、七〇字以内で「」、「。」「も字数に入れる）呼びかけの原稿を書きなさい。</p>
-----	---	------	---

正答例

スズメバチは、毒のある針をもっていて、巣の近くでさわいでいると、敵だと思っておそってきます。だから、巣を見つけたら静かに離れましょう。

スズメバチは、毒のある針を腹部の先に持っています。だから、敵だと判断されておそわれると困るので、巣を見つけたら静かに離れましょう。

出題の趣旨

主張をもとに、複数の情報を対応させたり組み合わせたりして、自分の考えにまとめられるかどうかをみる。

学習指導要領との関連

第3学年及び第4学年 C 読むこと(1)オ

目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら文章を読むこと。

第3学年及び第4学年 B 書くこと(1)エ

書こうとする事を中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと。

解答類型 解答として求める条件をすべて満たしている正答

1	<p>60字以上70字以内で、次の条件を満たして記述している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の 全体の全てに触れて、それぞれから必要な部分を使い記述している。 ・2文で記述してある。 ・1文目は「スズメバチは」で始まり、スズメバチのことについて、資料を元にも書いている。 ・2文目は「だから」で始まり、1文目を根拠や理由として、注意することを呼びかけている。 <p>*資料は 順番に使わなくてもよい。*1文目に を使い、2文目に を使ってもよいし、1文目に を使い、2文目に を使ってもよい。</p> <p style="text-align: right;">上記正答例参照。</p>	人	%
2	「毒をもっていること」「大きな音を立てるものを敵と判断して襲うこと」のどちらかを第一文に、「大きな音を立てない」「動き回らない」「静かに離れる」などを第二文に書いていない。		
3	一文目と二文目が、「だから」でつながる関係になっていない。		
4	呼びかけの形になっていない。		
5	文字数の条件を満たしていない。		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

<昨年度の調査における正答率>

平成21年度P問題【五】37.3%

平成21年度C問題【六】61.9%【七】41.7%

小学校5年国語【五】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



誤答の傾向の分析から、重点をかける学習過程の段階を分析しましょう

分析 解答類型により次のようなつまずきが考えられます。

・「2」の場合

資料から、「注意しなければならないこと」や「その理由や根拠」として挙げられる部分はどこかを読み取って、必要な部分を取り出す「集材」の力が弱いようです。

・「3」の場合

根拠を挙げたり、理由付けたりして、意見や考えを説明していく力が弱いようです。普段、授業中の発言の様子はどうでしょうか。

・「4」の場合

注意するために文章を書くという目的をとらえきれていないようです。

・「0」の場合

読み取った情報について形を変えて表現することができないという理由も考えられます。

確認 複数の情報に対応させたり、組み合わせたりして自分の考えをまとめる力が付いていますか。

ここがポイント



「書くこと」の学習

相手意識・目的意識をもった言語活動を

【誤答の分析から取組への見通し】

書くことの目的を明確にすることで、必要な情報が何かが明らかになります。目的意識・相手意識を明確にした学習場面を設定しましょう。

自分の読みについて、その根拠と理由を明確にしよう。

文章のこの叙述とこの叙述をつなげると、こういうことが言えそうだ。それが理由になりそうだ。学習問題が解決できそうだ。

ここがポイント



書くことの単元の構成

学習過程を明確にし、つける力をしぼった学習を

4年「書くこと」の指導

ここがポイント



段落の役割を考えて文章を書く学習を

【選材・集材】目的や必要に応じて、集める材料に見通しをもたせる学習を

目的や必要に応じ、どのような材料が必要か、どんな方法で集められるかを考える場面を工夫しましょう。

【構成・記述】理由や事例を挙げて記述する学習を位置付けましょう。

自分の考えの中心になる内容や段落に対して、原因や理由を挙げたり、分かりやすく説明するために事例などを挙げたりして記述する学習場面を工夫しましょう。

5年「書くこと」の指導

ここがポイント



構成・表現の効果について考えたり評価したりする学習を

【推敲・交流】様々な構成の仕方や表現の仕方の効果についての理解を深め、自分の文章に生かしたり、評価し合ったりする学習を積み重ねましょう。

「読むこと」の学習と関連させながら、「序論・本論・結論」「頭括型、尾括型」など、様々な文章の構成の仕方について理解し、自分の伝えたいことに沿った文章構成を工夫しながら書くことができるようにしましょう。

書いたものを読み合い、構成の仕方や表現の仕方の観点から、工夫のよさを評価し合う学習を位置付けましょう。

ここがポイント



4, 5年「書くこと」「読むこと」の指導

目的をもった言語活動の中で思考させる学習を

目的をもった言語活動の中で観点に応じて、形の違った複数の情報に対応させたり、組み合わせたり、比較検討したりして、自分の考えをまとめ、交流する学習を工夫しましょう。

メモと文章、グラフ・図表・写真と文章など形の違う情報に対応させて読んだり、書いたりすることができるようにしましょう。

小学校 5 年算数【 1 】解説シート

問題及び正答

【 1 】 $1.4 + 3$ を計算しなさい。

正答 4.4

出題の趣旨

小数の加法「(小数)+(整数)」の計算をすることができるかどうかをみるものである。ここでは、位をそろえて適切に計算することが求められる。

学習指導要領との関連

第4学年 A 数と計算

(4) 小数の意味とその表し方について理解するとともに、小数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

ウ 1/10の位までの小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

解答類型及び過去の調査における正答率

< 解答類型 >

1	4.4 と解答しているもの	人	%
2	1.7 と解答しているもの		
3	3.4 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



< 過去の調査における正答率 > ($1.4 + 3$)

	正答率	「1.7」の反応率
21年度(P調査)	65.6%	
20年度(県学力)	63.1%	28.0%
17年度(県学力)	45.9%	44.2%
16年度(県学力)	55.8%	37.9%

平成 20 年度全国学力・学習状況調査

$6 + 0.5$

正答率 83.1% (全国)
82.1% (長野県)

小学校5年算数【1】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

分析 「 $1.4 + 3 = 1.7$ 」と答えている児童は何人いましたか。

20年度県学力実態調査では、28%の児童が「 1.7 」と解答しています。

確認 位がそろった小数どうしの計算ができますか。

小数を数直線上に表すことができますか。

「 $1.4 + 3 = 1.7$ 」の誤答を生かして、小数の理解を深める場面を仕組みましょう。

どうやって計算したら、答えが「 1.7 」になるのかな。

「 1.4 の4」と「3」をたしたのかな。

$$\begin{array}{r} 1.4 \\ + 3 \\ \hline 1.7 \end{array}$$
と筆算したのかな。

式をみただけで、答えが「 1.7 」にならないことを説明できないかな。

1.4 は1より大きいから、答えは $1 + 3$ より大きくなる。

小数の計算をするときに、気を付けたり工夫したりすることをまとめよう。

答えを見積って 3を 3.0 と表して

整数の場合と同じように位をそろえて

ここがポイント

4年「小数の加法・減法」の指導



結果を見積る態度を育てましょう。

小数の意味や仕組みを理解させることに留意し、形式的な計算指導にならないようにしましょう。そのためには、計算の結果を見積ってから計算したり、答えと見積りを照らし合わせたりする習慣を付けることが大切です。

答えはいくつくらいになりそうかな。

数直線上で、小数の位置や大きさを確かめて

単位を付けることで、日常生活に結び付けて

答えはいくつといくつの間になるかな。

整数の計算に帰着させて

ここがポイント

5年「小数の計算」の指導



整数の場合と比べながら、計算の仕方を考えさせましょう。

内容が抽象化してくると、形式的な計算処理を教え、あとは反復練習するだけの指導に陥りがちですが、それでは結果的に定着していません。発見や説明を大切に場面づくりをしましょう。

4年の内容の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。

計算の仕組みは整数の場合と同じである（形式の保持）ことに着目し、整数に直して考えて、計算の仕方を発見したり説明したりする学習を仕組みましょう。

4年と同じように、計算結果を見積る態度を育てましょう。特に、かける（わる）数が1より小さい乗法（除法）で、結果を見積り、根拠を説明できるようにしましょう。

加法と乗法の筆算の形式を比較することから、2つの計算の意味理解を深め、使い分けができるようにしましょう。小数の加法と乗法の混じった問題プリントを使うことも有効です。

小学校 5 年算数【 2 】解説シート

問題及び正答

【 2 】 下の整数と分数を，小さい順に左からならべなさい。

$$1\frac{3}{4} , \frac{9}{4} , 2$$

正答 $1\frac{3}{4} , 2 , \frac{9}{4}$

出題の趣旨

帯分数，仮分数及び整数の大小関係を理解しているかどうかをみるものである。ここでは，1 より大きい数についても，単位分数の幾つ分というとらえ方をしたり，帯分数によって表したりできることが求められる。

学習指導要領との関連

第 4 学年 A 数と計算

(5) 分数の意味とその表し方について理解できるようにする。

ア 端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを表すのに分数を用いること。また，分数の表し方について知ること。

イ 分数は，単位分数の幾つ分かで表せることを知ること。

解答類型及び過去の調査における正答率

< 解答類型 >

1	$1\frac{3}{4} , 2 , \frac{9}{4}$ と解答しているもの	人	%
2	$\frac{9}{4} , 1\frac{3}{4} , 2$ と解答しているもの		
3	$2 , 1\frac{3}{4} , \frac{9}{4}$ と解答しているもの		
4	$\frac{9}{4} , 2 , 1\frac{3}{4}$ と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

調査結果を記入し，
気付いたことをメモ
しておきましょう。



解答として求める条件をすべて満たしている正答

< 過去の調査における正答率 > (整数，仮分数，帯分数の大小関係)

	問 題	正答率
21 年度 (C 調査)	$\frac{12}{5} , 2 , 1\frac{4}{5}$	45.7%
21 年度 (P 調査)	$1\frac{2}{3} , \frac{8}{3} , 2$	44.7%

小学校5年算数【2】指導シート

補充・補完指導

ここがポイント



誤答を活用しましょう。

分析 「 $\frac{9}{4}$ 」, 「 $1\frac{3}{4}$ 」, 「2」 と答えている児童は何人いましたか。

確認 分数の大きさを, 単位分数の幾つ分かで説明することができますか。
分数を数直線上に表すことができますか。

「 $\frac{9}{4}$ 」, 「 $1\frac{3}{4}$ 」, 「2」などの誤答を生かして, 分数の理解を深める場面を仕組みましょう。

答えが, 「 $\frac{9}{4}$ 」, 「 $1\frac{3}{4}$ 」, 「2」になるのは, どう考えたからかな。

分数のどの部分に目をつければ, 大きさが分かるかな。

整数や分数の大きさを比べるときに, 工夫することをまとめよう。

整数部分だけを比べて, 0 1 2のように, 小さい順に並べてしまった。

同じ単位(単位分数)の幾つ分で表しているから, 分子の大きさだけで分数の大小を比べられる。

帯分数の整数部分を見れば, いくつといくつの間の大きさになるか分かる。

数直線に表して

同じ単位分数の幾つ分かで表して

ここがポイント

4年「分数」の指導



分数目盛の数直線を使い, 分数を数として理解できるようにしましょう。

分数の意味や表し方の理解を基に, 分数の形から大小関係を説明できるようにしましょう。その際, 1より大きい分数を仮分数, 帯分数で表すよさが分かり, 相互に変形したり, 整数や小数とともに同じ数直線上に表したりして, 分数の大きさに対する感覚を育てていくことが大切です。

仮分数 どのくらいの大きさの分数かな。

単位分数の幾つ分かに着目して

分数目盛の数直線上に表して

帯分数 いくつといくつの間になるかな。

整数部分に着目して

ここがポイント

5年「分数」の指導



同じ大きさの数でも, 様々な表し方があることを理解できるようにしましょう。

整数 分数, 小数 分数と相互に形を変えて表し, 数直線上に位置付けて, 同じ数であることを視覚的にとらえられるようにしましょう。また, 数の大小を比較したり和や差を求めたりする中で, 大きさは変えずに形を変えて表すよさに気付かせることが大切です。

4年の内容の理解を深めることを意識して, 数直線など教具や教室環境を整えましょう。

整数 分数, 小数 分数と相互に変形できることを, 単位分数の幾つ分かに着目したり, 商が分数で表せることを利用したりして, 説明する学習を仕組みましょう。

同分母分数の加法・減法では, 分母はそのまま分子どうしを計算すればよい理由を, 具体物を用いたり単位分数の幾つ分かに着目したりして説明する活動を位置付けるなどして, 形式的な処理を反復練習することだけにならないようにしましょう。

小学校5年算数【3】解説シート

問題及び正答

3 912まいの色紙を4人に同じ数ずつ配るときの1人分のまい数は、右のように筆算でもとめられます。

今、912まいの色紙の中から、1人に200まいずつ配りました。4人に配った色紙のまい数を表しているのは、右の筆算のどこですか。

ア～クの中から1つえらんで、その記号を書きなさい。

2 2 8	アイ
4) 9 1 2	ウ
8	エ
1 1	オ
8	カ
3 2	キ
3 2	ク
0	

正答 ウ

出題の趣旨

わり算の筆算の各段階の意味を理解しているかどうかをみるものである。ここでは、わり算の筆算の手続きの意味を具体的な場面と結び付けてとらえることが求められる。

学習指導要領との関連

第4学年 A 数と計算

(3) 整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。

ア 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算の仕方を考え、それらの計算が基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。

解答類型及び過去の調査における正答率

< 解答類型 >

1	ア と解答しているもの	人	%	6	カ と解答しているもの		
2	イ と解答しているもの			7	キ と解答しているもの		
3	ウ と解答しているもの			8	ク と解答しているもの		
4	エ と解答しているもの			9	上記以外の解答		
5	オ と解答しているもの			0	無解答		

解答として求める条件をすべて満たしている正答

< 過去の調査における正答率 >

16年度特定の課題に関する調査

正答率	ア と解答しているもの
9.6%	58.7%

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



小学校5年算数【3】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

【分析】「ア(1人分の枚数228)」と答えている児童は何人いましたか。

16年度特定の課題に対する調査では、58.7%の児童が「ア」と解答しています。

【確認】わり算の筆算の手続きの意味を具体的な場面と結び付けて考えられていますか。

筆算における手続きや方法の意味を理解できていますか。

「ア」の誤答を生かして、筆算の手続きの意味理解を深める場面を仕組みましょう。

答えが「ア」になるのは、どういう場合なのかな。

228は4人に同じ数ずつ配ったときの1人分の枚数で、200枚ずつ配った枚数じゃない。

1人に200枚ずつ配ったら、何枚必要かたしかめの式で確認してみよう。

一人分の枚数×人数＝配られる数になるから、 $200 \times 4 = 800$ で、800枚必要になる。

わり算の筆算をするときに、気をつけたり工夫したりすることをまとめよう。

答えを見積ってから計算するようにしよう。
立てた商の意味を具体的に考えながら計算しよう。

ここがポイント

4年「わり算の筆算」の指導



筆算の手続きの意味を考える態度を育てましょう。

筆算の指導場面では、単に計算手続きに習熟させるだけでなく、筆算手続きの意味や示された数の意味を具体的な場面と結び付けて考える活動を取り入れながら指導するようにしましょう。

また、答えを見積もってから計算することも大切に指導しましょう。

答えはいくつくらいになりそうかな。

100のたばはいくつずつ配れそうか考えると・・・

今立てた商は何を表しているのかな。

10の位に立てたから10の束の数を表しているな。

ここがポイント

5年「小数の計算」の指導



整数の場合と比べながら、計算の意味を考えさせましょう。

単に計算手続きに習熟するだけでは、十分な計算能力にはなりません。小数の筆算でも筆算の各段階の意味や示された数の意味を具体的な場面と結び付けて考える活動を取り入れましょう。

4年の内容の学び直しを意識して、教具や教室環境を整えましょう。

4年と同じように、計算結果を見積る態度を育てましょう。

計算の仕組みは整数の場合と同じである(形式の保持)ことを意識させた上で、「わられる数の小数点にそろえて小数点を打つ」ことの意味を考える学習を仕組みましょう。

今立てた商やあまりが何を表しているか、具体的な場面と結びつけて考える活動を取り入れ、筆算の各段階の意味の理解を深められるようにしましょう。

小学校5年算数【4】解説シート

問題及び正答

【4】 右の表は、大人と子どもで、野球とサッカーのどちらが好きかを調べた表の一部です。
サッカーが好きな子どもは何人ですか。

	野球	サッカー	合計
おとな	5		7
子ども			
合計	8		15

正答 5人

出題の趣旨

2つの観点から資料を分類整理した二次元の表のよみ方を理解しているかどうかをみるものである。ここでは、表の合計欄が各項目の総数を表していることを基に、縦と横の関係から空欄の数値を導くことが求められる。

学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

(3) 目的に応じて資料を集め、分類整理したり、特徴を調べたりすることができるようにする。

ア 二つの事柄に関して起こる場合について調べること。

イ 資料の落ちや重なりについて調べること。

解答類型及び過去の調査における正答率

< 解答類型 >

1	5人 と解答しているもの	人	%
2	2人 と解答しているもの		
3	7人 と解答しているもの		
4	3人 と解答しているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

解答として求める条件をすべて満たしている正答

調査結果を記入し、気付いたことをメモしておきましょう。



< 21年度P調査問題 >

< 過去の調査における正答率 >

	正答率	無解答率
21年度(C調査)	79.0%	
21年度(P調査)	78.5%	
19年度(県学力)	57.1%	11.3%

	お茶	ジュース	合計
おとな	4		5
子ども			7
合計	6		

ジュースが好きな子どもは何人ですか

小学校5年算数【4】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



誤答を活用しましょう。

分析 正答以外に、児童はどんな数値を入れていましたか。

2つの観点の入った表では、どちらか一方の観点が欠落しやすくなります。

確認 何について調べた表か説明できますか。

1つの観点から分類した表を作成できますか。

「空欄に入れた数値」の誤答を生かして、それぞれの欄に入る数字の意味を考えたり、順序よく数値を求める手順を確認したりする場面を仕組みましょう。

空欄の数値をどのように考えて求めたのかな。（「2人」「7人」の誤答）

サッカーが好きなおとなの人数を求めたのかな。

合計から野球が好きな人数の合計をひいたのかな。

どんな順序で求めていったか、説明しよう。

「サッカーが好きな子ども」だから、表の「サッカー」と「子ども」の合わさったところを求めればよい。

まずサッカーの項を縦に見て...、次に子どもの項を横に見て...。表の全部を埋めなくても求められる。

表を見たり表に整理したりするときに、気をつけることをまとめよう。

縦と横を組み合わせて

合計が同じになるか確かめて

ここがポイント

4年「二次元の表」の指導



二次元の表の仕組みを理解し、正しくつくれるようにしましょう。

単に事柄を表に分類整理するだけでなく、目的意識をもって資料の分類項目を考え、正しい結果が得られるようまとめましょう。そのために、2つの観点の組合せから起こり得る場合を論理的に導いたり、落ちや重なりがないように数え方を工夫したりすることが大切です。

資料から何が分かりそうかな。

どんな観点で分類されているか項目を見よう。

正しく数えるために、どんな工夫をしたのかな。

縦、横の項目の組合せから、各欄の数値の意味が分かる。

順序よく数えた。

数えたものに色や印を付けた。

ここがポイント

5年「割合のグラフ」の指導



作成した表やグラフを目的に応じてよみ取る活動を行いましょう。

提示した資料で表やグラフのつくり方とよみ方を教えるだけになりがちですが、それでは表やグラフを使えるようにはなりません。目的に応じて資料を集め、表やグラフに分類整理し、特徴や傾向をとらえて判断したり表現したりする活動を大切にしましょう。

4年までに学習してきた知識や技能を使い、資料に落ちや重なりがないか調べたり、集計に誤りがないか確かめたりするなど、正確に分類整理する態度を育てましょう。

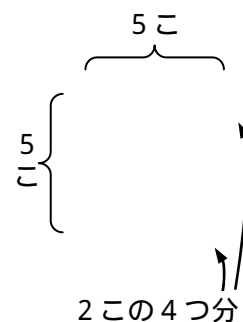
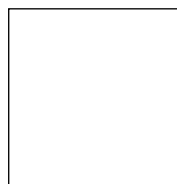
日常生活や社会科、理科の学習との関連をもたせ、円グラフや帯グラフが、全体と部分、部分と部分の間の関係を表したりよみ取ったりする上で便利であることに気付かせましょう。

目的に応じて適切な表やグラフを選択し、表し方を工夫したり、特徴や傾向をよみ取ったり判断したりする活動を、単元の中に位置付けましょう。

小学校5年算数【5】解説シート

問題及び設定正答率

【5】下の図のように、はこにクッキーがならんでいます。たかしさんは、
 $5 \times 5 - 2 \times 4$
 という式をつかって、クッキーのこ数をもとめました。
 図を使って、たかしさんのもとめ方をせつめいしなさい。



正答例 「 $5 \times 5 - 2 \times 4$ 」の「 5×5 」は、図のようにクッキーを加えたときの、全体のこ数を表している。「 2×4 」は、加えたクッキーのこ数を表している。たかしさんは、まず、4すみにクッキーを加えた全体のこ数をもとめ、そこから加えた分をひいて、クッキーのこ数をもとめた。

出題の趣旨

式から問題解決における思考過程をよむことができるかどうかをみるものである。ここでは、式と図を結び付け、式に対応するまとまりを図の中に見いだすことが求められる。

学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

(2) 数量の関係を式で簡潔に表したり、それをよんだりすることができるようにする。

ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。

解答類型及び過去の調査における正答率

< 解答類型 >

1	図の4隅にクッキーを加えて正方形にし、図と対応して式を説明しているもの	人	%
2	図の4隅にクッキーを加えていないが、図と対応して式を説明しているもの		
3	文で説明していないが、図の4隅にクッキーを加えて正方形にしているもの		
9	上記以外の解答		
0	無解答		

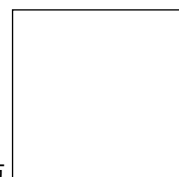
解答として求める条件をすべて満たしている正答 設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

< P, C調査における正答率 >

	正答率
21年度(C 調査)	46.0%
21年度(P 調査)	34.6%

< 21年度P調査問題 >

下の図のように、はこにクッキーがならんでいます。
 たかしさんは、 $5 \times 5 - 3 \times 4$
 という式をつかって、クッキーの
 こ数をもとめました。
 図を使って、たかしさんのもとめ方
 をせつめいしなさい。



小学校5年算数【5】指導シート

ここがポイント

補充・補完指導



無解答の児童の理解の状況を丁寧に把握しましょう。

分析 無解答の児童は何人いましたか。

県学力実態調査の結果からは、無解答の割合は年度を追って減少する傾向にあり、20年度の類題では6%程度となっています。

確認 「 5×5 」は「5の5つ分」を表している式であることを説明できますか。

かけ算をまとまりとしてとらえ、式全体が(全体)-(部分)を表していることが分かりますか。

図の中に「 5×5 」を見つけることから、図と対応させて式をよむことができるようにしましょう。

図の中に「 5×5 」が見つかりますか。

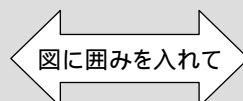
このままの図では、5このまとまりが5つも見つからない。

(L字型の図形を示して学習場面を想起させ)どんなやり方で面積を求めたのかな。

ない部分を補って考え、大きな長方形から余分な長方形を引いて求めた。

クッキーの個数の求め方をいろいろ考えて、式に表そう。また、友だちの式を見て、どのように考えたのか説明しよう。

$3 \times 5 + 2$
 $5 \times 3 + 2$
 $6 \times 2 + 5$



ここがポイント

4年「式をよむ」ことの指導

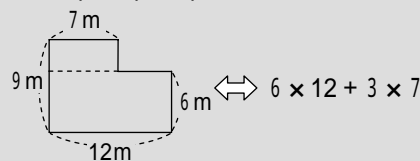


年間の指導内容を見通して、繰り返し指導しましょう。

年間の指導内容を見渡すと、例えば、下のような学習場面で、式をよむ活動を位置付けることができますので、見通しをもって繰り返し指導していきましょう。

- L字型の図形の求積 - 式による表現 - 除法について成り立つ性質 - 伴って変わる2つの数量関係 →

なかでもL字型の図形の求積については、新学習指導要領で〔算数的活動〕の1つとして、「長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動」と示されています。この活動を通して、式の形そのものが意味をもっていることに気付き、公式を使うよさ、補助線のよさなどを実感できるようにしましょう。



ここがポイント

5年「式をよむ」ことの指導



図や操作と式を結び付けて説明する活動を充実しましょう。

4年同様、年間の指導内容の中から、式をよむことに重点を置いて指導する場面を予め明らかにしておくことが大切です。

- 小数の計算 - 数量の関係の見方や調べ方 - 三角形、平行四辺形等の求積 - 分数の計算 →

特に、三角形、平行四辺形の求積場面では、図や操作と式の対応付けを丁寧に行うとともに、4年の学習との関連を大切に、面積を求める図形の中に既知の図形を見だし、問題解決するよさを味わえるようにしましょう。

4年「面積」
L字型の図形の求積

5年「面積」
三角形、平行四辺形等の求積

ひと工夫して長方形に帰着

ひと工夫して長方形、三角形に帰着